

中学校特別支援教室拠点校の増設について

1 概要

市立小中学校では、友達とうまく関われない、集団活動が苦手、認知特性により学習が思うように進まない児童生徒などを対象として、専門の巡回指導教員が拠点校から巡回してコミュニケーションの指導や障害特性に応じた特別の指導を週1回程度行っている。中学校は令和2年度から特別支援教室を導入し、第二中学校を拠点校として指導を行っているが、近年、対象生徒が増加傾向であるため拠点校を1校増設（巡回校から拠点校に変更）し、対応する。

2 中学校拠点校・巡回校の新旧対照表

教室名	拠点校	巡回校 (令和7年度まで)	巡回校 (令和8年度から)
こぶし教室	第二中学校	第一中学校・第三中学校・ 第四中学校・第五中学校・ 第六中学校	第五中学校・第六中学校
新教室※	第三中学校		第一中学校・第四中学校

※新教室の名称の決定方法は現在第三中学校及びこぶし教室と検討中。

【参考】対象生徒数の推移（各年5月1日時点）

（単位：人）

	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
中学校	34	45	53	56	70	78